

各関係機関の長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

平成25年度 病害虫発生予察情報について（送付）

このことについて、発生予察注意報第2号（普通期水稻のトビイロウンカ）を發表します。

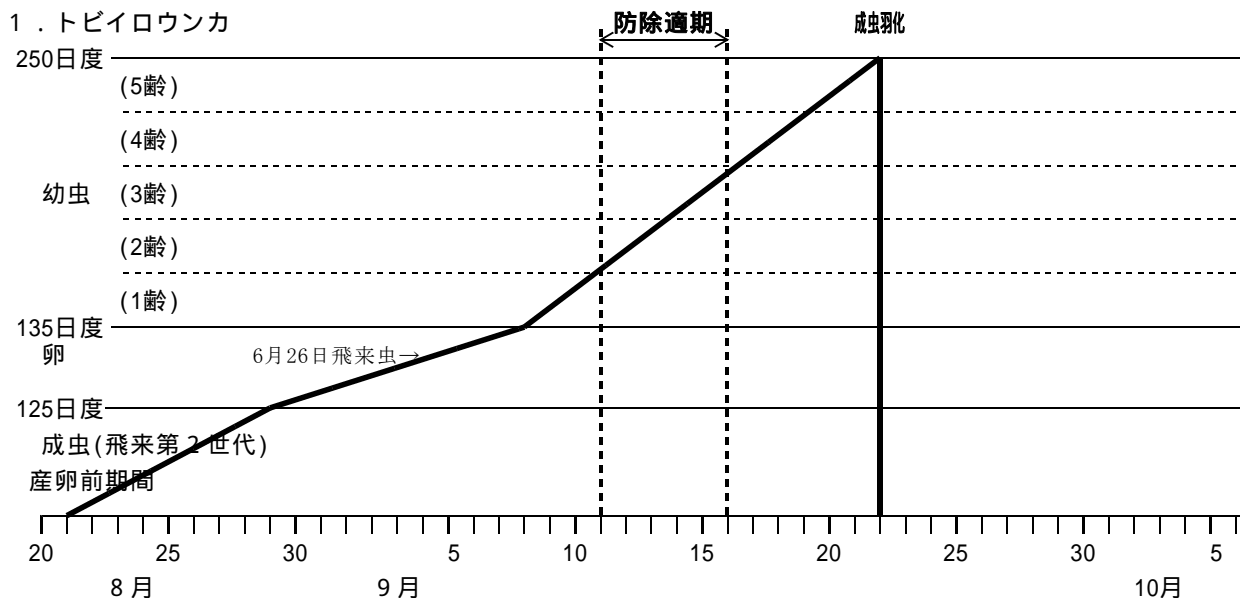
病害虫発生予察 注意報第2号

- 1 農作物名 普通期水稻
- 2 病害虫名 トビイロウンカ
- 3 発生地域 普通期水稻栽培地帯
- 4 発生量 多
- 5 発生状況及び注意報発令の根拠
 - (1) トビイロウンカについては、これまでに技術情報第5号(7月9日付け)及び注意報第1号(8月8日付け)を發表し、防除を呼び掛けてきた。その後、8月16~23日に県内31地点(62ほ場)で行った巡回調査の結果、発生ほ場率が87%(平年36%)と平年に比べてやや高く(表1)、既に発生密度が高いほ場も確認されている。
 - (2) また、発生ほ場のうち、増殖率が非常に高い短翅型雌成虫の発生ほ場率が57%と依然として高く、次世代虫の多発生が予想され、今後、坪枯れ被害の発生が懸念される。
 - (3) 向こう1か月の天候予報では、九州南部の気温は平年並みか高いと予想されており、本種の増殖に好適な条件が見込まれる(鹿児島地方气象台:8月23日発表)。
- 6 防除対策及び防除上注意すべき事項
 - (1) 6月26日飛来虫に由来する第3世代幼虫の防除(防除適期:9月11~16日)を徹底する(別紙参考資料、発生経過予測図を参照)。
 - (2) 発生状況は地域やほ場によって差があるので、防除にあたってはほ場毎に確認する。
 - (3) 中~晩生品種では収穫期まで期間が長く、坪枯れの危険性が高いことから、特に注意する。
 - (4) これまでに防除を行ったほ場でも、依然として発生密度の高いほ場が認められているので、ほ場の中まで入って発生状況を確認し、発生を認めた場合は早急に防除する。
 - (5) 本種は稲の株元に生息するので、粉剤や液剤を使用する場合は、薬剤が株元に十分届くよう散布する。
 - (6) 薬剤散布にあたっては、農薬の使用基準を遵守し、薬剤の飛散に十分注意する。

(参考資料)

トビイロウンカの有効積算温度による発生経過予測図 (鹿児島地方気象台：加世田のデータを使用)

鹿児島県病害虫防除所 2013年 8月27日 作成



(注) 気温の低い地域では、本予測より数日程度遅くなる。

表1 トビイロウンカの発生状況 (調査日：8月16～23日)

地域名	発生ほ場率 (%)		調査ほ場数
	本年	平年	
南薩	70	40	10
北薩平坦	83	35	24
北薩山間	91	36	22
大隅	100	35	6
県計(平均)	87	36	62

平年は、2003年～2012年の平均値

巡回調査地点

南薩：南九州市知覧町永里・川辺町古殿・川辺町勝目

日置市伊集院町大田，いちき串木野市大里

北薩平坦：鹿児島市東佐多町，姶良市三拾町・蒲生町楠田

霧島市隼人町住吉・国分上小川，薩摩川内市宮崎町・高江町

出水市野田町屋地・高尾野町東干拓，出水市六月田

薩摩川内市入来町浦之名，阿久根市鶴川内

北薩山間：さつま町宮之城平川・宮之城時吉・鶴田大角・中津川，薩摩川内市祁答院町上手

伊佐市菱刈前目・田中，伊佐市大口金波田・太田・山野，湧水町北方

大隅：曾於市末吉町高松・大隅町笠木，鹿屋市野里